



# 令和3年度全国キャリア教育・就職ガイダンス

## <行政説明>

文部科学省 高等教育局

学生・留学生課 課長補佐 辻 邦章



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

令和3年6月30日

# 《目次》

◆ 就職指導 ..... 1

◆ 在学中の学生支援一般 ..... 2

◆ 経済的支援 ..... 3

◆ 障害学生支援 ..... 4

◆ 留学生支援事業 ..... 5

◆ 税制関係 ..... 6

◆ 参考 ..... 7

} 別冊

# 新規大学等卒業予定者（※）の就職・採用活動開始時期について

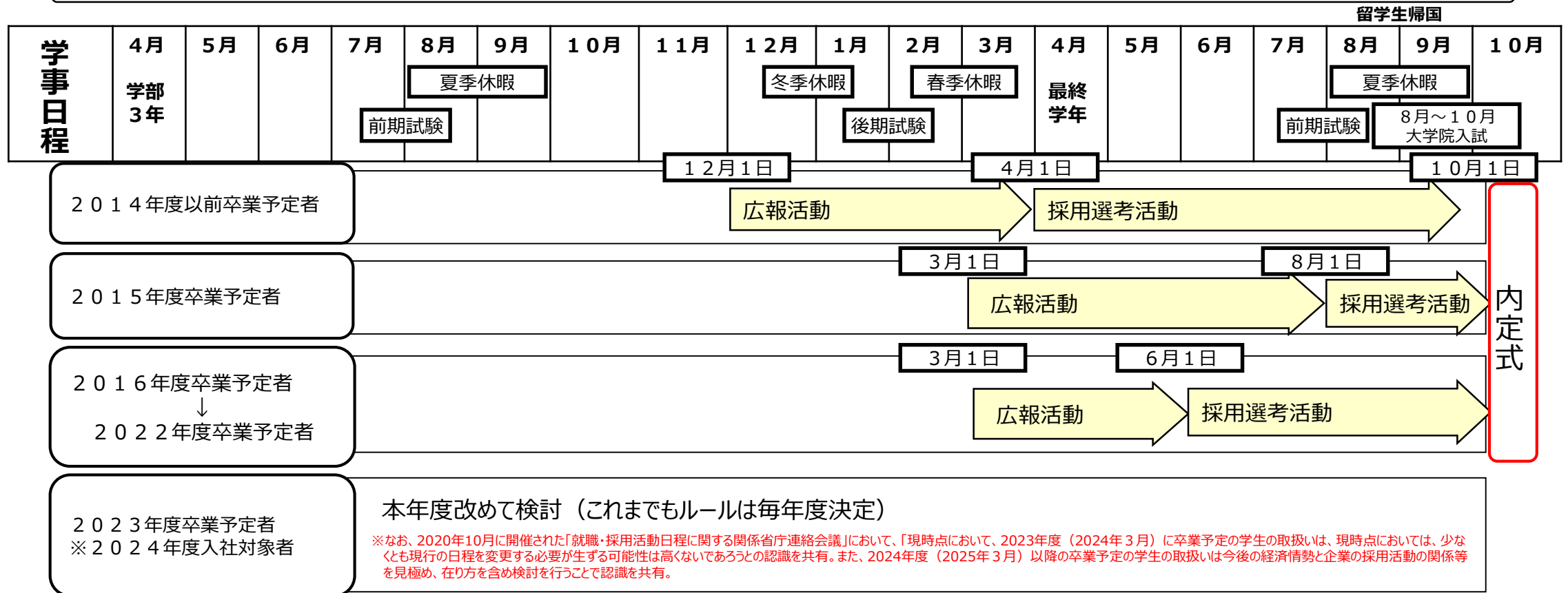
就職・採用活動と学業を巡る問題

（※）4年生大学のほか、大学院（修士）、短期大学、高等専門学校を含む

- 就職活動が大学の授業・試験期間と重複 ⇒ 学生の成長が最も期待される3年次の教育に支障。
- 海外留学する学生が減少 ⇒ 就職活動の時期を逸する可能性があることが阻害要因の一つとして挙げられている。

学生の学修時間や留学等の多様な経験を得る機会を確保し、大学等において社会の求める人材を育成するための環境を整備。

- 【2015年度卒業予定者】 **就職・採用活動時期を後ろ倒し**（広報活動開始3月1日以降、採用選考活動開始8月1日以降）
- 【2016年度卒業予定者】 **採用選考活動開始時期を微調整**（広報活動開始3月1日以降、採用選考活動開始6月1日以降）
- 【2017年度～2022年度卒業予定者】 **前年度の日程を維持**



内定式

※広報活動：採用を目的とした情報を学生に対して発信する活動。採用のための実質的な選考とならない活動。（例）会社説明会  
 ※採用選考活動：採用のための実質的な選考を行う活動。採用のために参加が必須となる活動。（例）採用面接

# 大学等卒業者の就職状況調査の結果について

## 概要

### 【就職（内定）状況調査について】

- 調査主体：文部科学省・厚生労働省（共同調査）
- 調査対象：112校  
【内訳】 大学 62校（国立21校、公立3校、私立38校）、短期大学 20校  
高等専門学校 10校、専修学校（専門課程） 20校
- 対象人員：6,250人（大学、短期大学、高等専門学校 計5,690人、専修学校（専門課程） 560人）
- 調査方法：各校において、所定の調査対象者を無作為に抽出した後、就職希望の有無、内定状況等につき調査を実施。
- 調査時期：年4回（10月、12月、2月、4月の1日現在）

### 【令和2年度大学等卒業者の就職状況（令和3年4月1日現在）】 ※令和3年5月18日公表

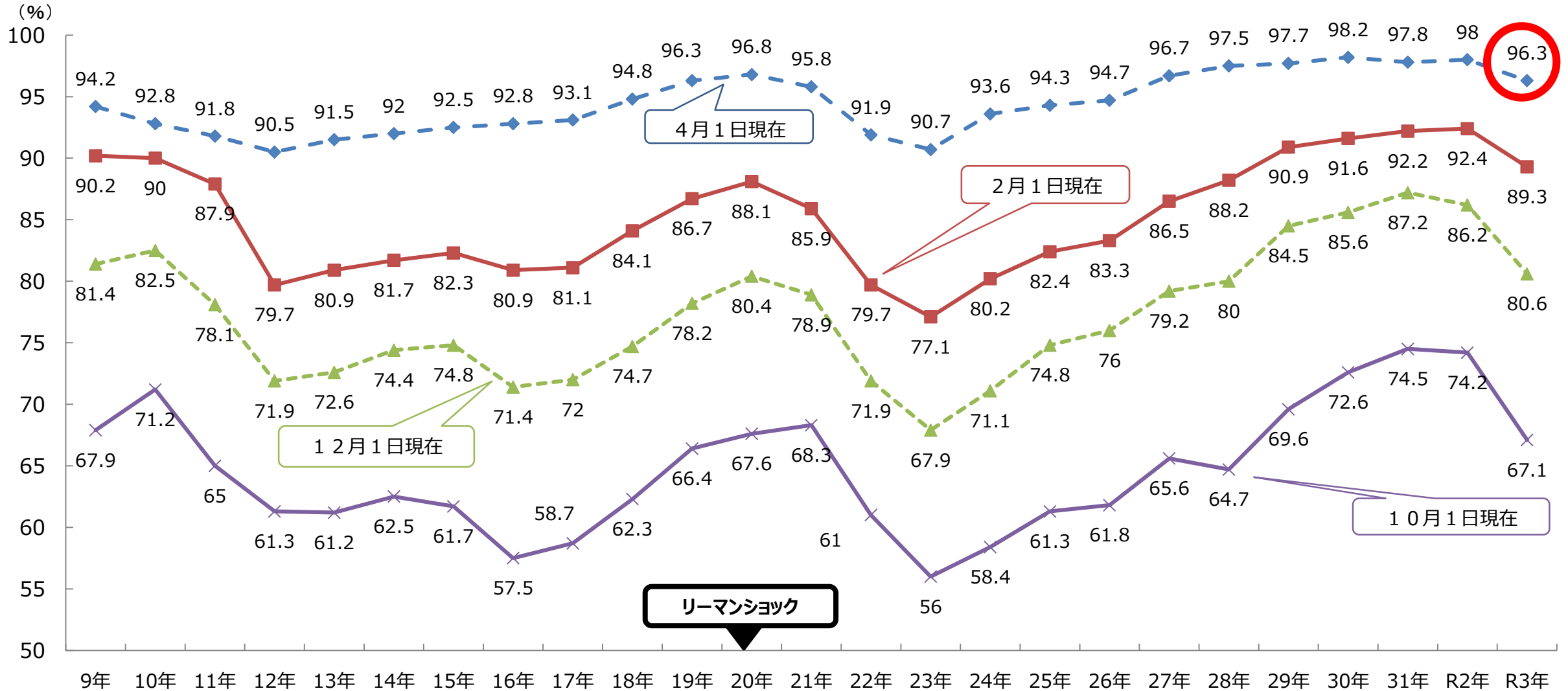
- 調査結果（就職率）の概要
  - ①大学（学部）：96.0%（前年比▲2.0ポイント）
  - ②短期大学：96.3%（前年比▲0.7ポイント）
  - ③高等専門学校：100%（前年比同）
  - （①～③）大学等：96.3%（前年比▲1.7ポイント）
  - ④専修学校（専門課程）：91.2%（前年比▲5.6ポイント）
  - ※全体（①～④）：95.8%（前年比▲2.0ポイント）

### 【調査結果のポイント】

- 大学（学部）は前年度に比べ2.0ポイント低下の96.0%となり、引き続き注視が必要。

# 新規卒業学生（※）の就職（内定）率の推移

（※）4年生大学のほか、短期大学、高等専門学校を含む



（資料出所）「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」（文部科学省・厚生労働省） （注）就職（内定）率とは、就職希望者に占める就職（内定）者の割合。（各年3月卒）

# 学生の就職・採用活動に関する関連情報



◇就職・採用活動に関する要請について

[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/shushoku\\_katsudou\\_yousei/index.html](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/shushoku_katsudou_yousei/index.html)

◇「新卒者内定取消等特別相談窓口」を新卒応援ハローワークに設置

[https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000193580\\_00003.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000193580_00003.html)



◇在宅勤務（テレワーク）等の活用状況

<https://www.meti.go.jp/covid-19/attendance.html>

◇全国キャリア教育・就職ガイダンス

<https://www.jasso.go.jp/gakusei/career/event/guidance/index.html>



◇経済4団体への大臣要請

（新卒者等の採用維持・促進に向けた新卒者等に対する取組）

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/activity/detail/2020/20201027.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/activity/detail/2020/20201027.html)

◇新卒者等への支援

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/gakuseishien/mext\\_01184.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/gakuseishien/mext_01184.html)



◇就職関係

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/gakuseishien/1290843.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/gakuseishien/1290843.htm)

# 新卒者等への支援

## ■ 令和2年12月28日（2文科初1427号）

### 学校、地域若者サポートステーション、ハローワーク等の関係機関間の連携強化による進路未決定卒業予定者への切れ目ない支援の実施について

- ・進路未決定卒業予定者に対して、大学等と連携を図りながら、ハローワークや地域若者サポートステーションがアウトリーチ型の支援を実施すること。
- ・学校、地域若者サポートステーション、ハローワーク等の関係機関間の連携がより一層推進されるよう必要な指導、助言及び援助について要請。

## ■ 令和3年2月19日（事務連絡）

### 新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた2021年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請について

- ・3月1日から令和4年3月卒業予定者等を対象とした就職・採用活動における企業の広報活動が解禁されることとなるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、生徒が安心して就職活動に取り組める環境を整えるため、日本経済団体連合会等の長に対して要請を行ったこと。（計6団体）
- ・各大学等に対して、本年3月に卒業等を予定しており、現在就職活動中の学生や、来年3月卒業等を予定して就職を希望する学生等に周知いただくこと。また、対象となる学生が安心して就職活動に臨めるよう、積極的な情報提供や相談対応、新卒応援ハローワーク等の関係機関との連携など、引き続き就職支援に万全を尽くしていただきたいこと。

## ■ 令和3年3月22日（2高学留第2号）

### 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた進路未決定卒業予定者等への切れ目ない支援の実施について

- ・進路が決まらずに卒業・修了を間近に控えた学生等に対する取組について、各校において留意いただきたい事項をまとめ、これまでの事務連絡等も踏まえつつ、第二の就職氷河期世代を作らないよう、切れ目ないより一層の支援を依頼。

# 学生の就職選択を妨げる行為 – いわゆる「オワハラ」について –

企業が人材確保に熱心になるあまり、就職活動中の学生に対して、次のような行為を行うことがあります。

- ・自社の内々定と引き替えに他社への就職活動を取りやめるよう強要するなどの職業選択の自由を妨げる行為
- ・学生の意思に反して就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為

## 具体的な事例

- ◆ 面接担当者の目の前で、他社に就職活動の辞退を電話させたり、メールを送るよう強要された。
- ◆ 内定承諾書（誓約書）などの提出を求められ、すぐに提出しないと内々定を取り消すと言われた。
- ◆ 内々定後、懇親会が頻繁に開催され、必ず出席するよう求められた。

大学等の皆様におかれては、学生に対してハラスメント相談窓口の周知、学生から相談があった際には適切な対応をお願いします。

また、学生にも安易に複数社に応募しないといった節度ある就職活動が求められるので、適切な指導をお願いします。





# 就職活動中の学生に対するセクシュアル・ハラスメントについて

## 事例

- ・食事やデートに執拗に誘われる。
- ・OB訪問等において性的な関係をもちかけられる。
- ・性的な冗談を言われる／性的なからかいを受ける。
- ・個人的連絡先を聞かれる。
- ・社外での面談、社外での待ち合わせを要求される。
- ・異性との交友関係について質問を受ける。
- ・結婚の予定、結婚観について質問を受ける。
- ・個人的内容を含む連絡を受ける。
- ・身体を触られる。

## 大学における取組事例

- ◆ 就職活動に関するガイダンスやインターンシップに行く前のガイダンス等において、ハラスメントにあった場合は大学へ相談するように伝え、実際に相談があった場合には、大学から企業へ申し入れを行っている。
- ◆ ハラスメントに遭わないよう十分注意して就職活動を行うよう、学生に対して一斉にメールを送信するなど、学生に対して注意を呼び掛けている。
- ◆ OB訪問に関して、ある程度の距離を持つように学生にアドバイスし、不安があるときは大学に連絡するように伝えている。
- ◆ 学生からの相談を受けて、同じ企業の選考を受けている学生に対して注意喚起を行い、未然に被害を防いだ。
- ◆ 学生の希望に沿って企業の間合せ先を紹介し、学生から企業に対し抗議を行った。
- ◆ 企業に申し立てたところ、企業側でも事情を把握し、謝罪の連絡があった。
- ◆ 面接官の発言にセクハラ的な言葉があり不快に感じたということで学生が相談に来られたので、カウンセラーが学生の心のケアを行った。

上記の取組事例を参考に、学生に対し学内の相談部署の周知、学生からの相談への適切な対応をお願いします。また、都道府県労働局等に設置されている「総合労働相談コーナー」に相談することも可能であるため、適宜活用・連携し対応をお願いします。

【厚生労働省HP「総合労働相談コーナー」】<https://www.mhlw.go.jp/general/seido/chihou/kaiketu/soudan.html>



# 新型コロナウイルス感染症の影響による学生等の学生生活に関する調査（令和3年5月25日公表）

## 調査概要

趣旨：新型コロナウイルス感染症による学生生活への影響について実態を把握することにより、今後の国及び大学等における学生への支援策の検討に役立てる。

対象：無作為に抽出した学生約3,000名⇒有効回答者：1,744名

方法：国立教育政策研究所及び大学等の協力を得て、文科省が作成したWEBサイトより、学生が直接回答。

期間：令和3年3月5日～27日

## サンプル特性

- ①宣言地域内・外、②国・公・私・高専、③学生数の規模別（3段階）で層化し、学生数を比例配分することにより、約60校を抽出。  
各学校で、学部や学年のバランスを考慮し、50名程度を抽出し、調査を実施。
- 概ね、実際の学生数の比率に応じた割合で抽出。

### （1）2021年1月の緊急事態宣言地域（※）「内」・「外」

※2021年1月8日付（東京、埼玉、千葉、神奈川）及び  
1月14日付（栃木・岐阜・愛知・京都・大阪・兵庫・福岡）の11都府県

地域「内」	64.0%
地域「外」	36.0%

### （2）国公立大学・高等専門学校の別

国立大学	21.9%
公立大学	6.0%
私立大学	68.7%
高等専門学校	3.4%

### （3）学年

学部・短大1年（高専4年）	25.5%
学部・短大2年（高専5年）	26.3%
学部・短大3年	21.8%
学部4年	13.1%
学部5年以上	2.2%
大学院生	11.1%

その他、  
・学部の割合は過去の調査と比較して、特段偏りなく抽出できている。  
・男女比も概ね均等。

## ○悩みについて

学生生活における悩みとしては、**将来のキャリアに関する悩みが最も多い。**

**将来のキャリアに関する悩みを抱える学生は73.3%（1,744人中1,278人が選択）**

（以下はその理由の内訳：択一選択）

